

第51期 株主通信

2014年3月1日 ▶ 2015年2月28日

グループ理念

私たちは「安全・安心」と
「価値ある商品・サービス」の
提供を通じて、
お客様の健康で豊かな食生活に
貢献します。

CONTENTS



巻頭特集

新社長インタビュー

おおとも ひろゆき
大友 啓行

🔊 フレボグループの合言葉

衛生管理の徹底は他のいかなる業務よりも優先する

🔍 目で見てわかる! 決算ハイライト

詳細は中面に記載しております ▶



代表取締役社長

大友啓行

プロフィール

1988年	1月	株式会社日洋入社
1989年	5月	当社入社
1991年	5月	当社取締役就任
1998年	5月	当社常務取締役就任 株式会社ニチヨーキャリア (現 株式会社ベストランス) 代表取締役社長就任
2005年	10月	株式会社日洋代表取締役社長 就任
2009年	5月	当社常務取締役就任、 統括事業本部長
2011年	5月	WARABEYA USA, Inc President 就任
2011年	8月	当社専務取締役就任、 統括事業本部長
2012年	3月	当社専務取締役、 生産本部長
2014年	4月	当社代表取締役副社長就任 生産本部長
2015年	5月	当社代表取締役社長就任

このたび、社長に就任いたしました大友啓行です。

Q わらべや日洋、フレボグループの新たなリーダーとして、大切にしたいことは何ですか？

入社以来、営業、生産、管理部門など様々な部署を経験させていただき、直近では生産本部長として、浦和工場や岩手工場の計画、立ち上げなどの陣頭指揮に当たりました。幅広い職場を経験する中で痛感したことは、従業員みんなの力で会社は成り立っているのだということです。特に心に強く残っているのは、30代半ばで物流関連事業の子会社である(株)ニチヨーキャリア（現(株)ベストランス）の社長に就いたときのことです。それまでとはまったく畑違いの仕事でしたが、私を助けてくれたのが従業員たちでした。

Q フレボグループの成長戦略についてご解説ください。

わらべや日洋を中核とするフレボグループは2015年2月期に5期連続の増収、連結売上高2,000億円を突破するなど、着実に売上を伸ばしています。コンビニエンスストア国内最大手の(株)セブン-イレブン・ジャパン様を主要顧客として、国内26工場、海外2工場を有し、1日当たり最大540万食以上を生産、積極的な設備投資によって生産能力はさらに拡大基調にあります。セブン-イレブン様向け事業に特化した1988年以降は安定した成長を続けており、今後も同社との共存共栄の関係を維持し、より強固な関係を築いていきたいと考えています。

全従業員の力を結集し さらなる成長を実現します。

若手からベテランまでコミュニケーションをとりながら、全社一丸となって業務に取り組むことで、業績を伸ばすことができました。この経験は私にとって非常に大きな財産となっており、これからも経営陣だけでなく従業員も含めたグループの全員と力を合わせて、ともに成長していきたいと考えています。若手の情熱やエネルギー、ベテランの知恵と経験を上手く引き出し、融合させることで、当社グループはさらに大きく、強くなっていけると確信しています。

そのために不可欠なのが、当社グループの強みである3つのコア生産機能、すなわち「商品開発力」、「生産技術力」、「品質・衛生管理力」です。「商品開発力」については、お客様のニーズに応える商品を提供するため、180人体制で商品開発に取り組んでおり、「セブンプレミアム」など新規カテゴリ商品の開発にも力を入れています。「生産技術力」に関しては、大量生産中でも1つ1つの商品をきれいに作りあげることが重点課題の1つであり、全従業員に対する教育・研修の強化に現在取り組んでいます。また、2014年6月に稼働したチルド米飯専用の浦和工場、2015年5月に稼働した岩手工場などに、今まで以上に品質の高い商品を作る

新しい設備を導入しているほか、全ての工場において、生産能力だけでなく、生産効率の向上、省力化を実現する機械化の推進にも力を入れています。「品質・衛生管理力」に関しては、我々のグループ理念にも掲げられている「安全・安心」を守るものであり、食品メーカーとしてもっとも大切にしなければならないものであるとの認識から、特に力を入れています。3ヶ年の中期経営計画では、今ご紹介した3つのコア生産機能のさらなる強化に加え、海外展開やグループ機能の強化など成長分野にも積極的に取り組み、今後も継続的な増収増益を目指してまいります。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社グループの最大の使命は、「安全・安心」で、「おいしい」、「また買いたい」といっていただけるような商品を作り続けていくことだと考えています。消費者のニーズ、嗜好は時代とともに変わっていきませんが、こうしたトレンドの変化を的確に捉え、磨き上げた「商品開発力」、「生産技術力」および「品質・衛生管理力」の3つのコア生産機能と、食材の生産・調達から加工・配送までをグループで行う一貫システムを強みとして、引き続きお客様に支持される商品を作り続けてまいりたいと考えています。当社グループは国内外に28工場を展開し、のべ1万人以上の従業員が24時間365日体制で働いています。当社グループは全従業員一人ひとりの力が結集して成り立っているのだということを忘れることなく、当社グループのさらなる発展を目指してまいります。株主の皆様には引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



フレボグループの
合言葉

「衛生管理の徹底は他のいかなる業務よりも優先する」を実践中!!

安全・安心、おいしくて高品質な商品をお客様に提供したい。当たり前のように聞こえますが、非常に難しいことです。わらべや日洋では、品質衛生管理重視の企業体質を根付かせており「衛生管理の徹底は他のいかなる業務よりも優先する」を合言葉に、徹底した品質・衛生管理に努めています。

3つのコア生産機能

品質・衛生管理能力

→ 徹底した衛生環境、異物混入防止

作業場入場時には以下のようなチェックを行っています。

✓ CHECK 1



粘着テープによる白衣のゴミ除去、金属探知機の検査、体温と体調、爪や手指の傷の確認を行う。

※ 私物は一切持ち込み禁止

✓ CHECK 2



ICカードを使用した入場ゲートによる入退場管理を行い、手洗いだけで9工程を実施。

✓ CHECK 3



強力なエアシャワーで異物を吹き飛ばした後、手袋をはめた上からさらに消毒スプレーをかけて、製造ラインに入る。

商品開発力

→ 製造現場以外でも衛生管理を徹底

- 工場の玄関に入ったところから、頭髮ネットを着用。
- 全社でホチキス、フリップ類の使用は禁止。紙テープを採用。
- 食材の生産・食材の調達を行う事業をグループで持つことによりトレーサビリティを確保。



→ 原材料調達・生産・配送といったグループ全体の業務において、品質・衛生管理の取組みを行う

→ グループの全工場に監視カメラを増設

- フードディフェンス強化のため、製造現場を中心にカメラを増設。

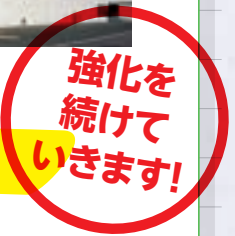
東京工場では
カメラ台数を従来の5倍
以上に増設しました



→ 白衣をポケットレスに改良

- 私物の持ち込み防止。

衛生管理の徹底にゴールはない



トピックス

(株) セブン-イレブン・ジャパンの 東北地区での出店増加に対応

岩手県北上市にある岩手工場は、投資総額約21億円。米飯、麺、惣菜類を製造し、最大生産能力は一日あたり25万食となります。

また、2015年3月に当社が子会社のわらべや福島(株)を合併、東北生産部を新設し、岩手工場と福島工場の運営を一体化するとともに、商品開発においては東北地区を担当する地区第二商品部を新設し、東北エリアの強化を図っています。



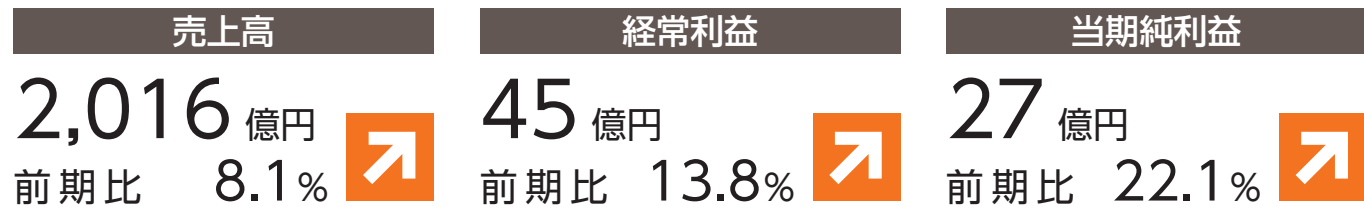
福島工場



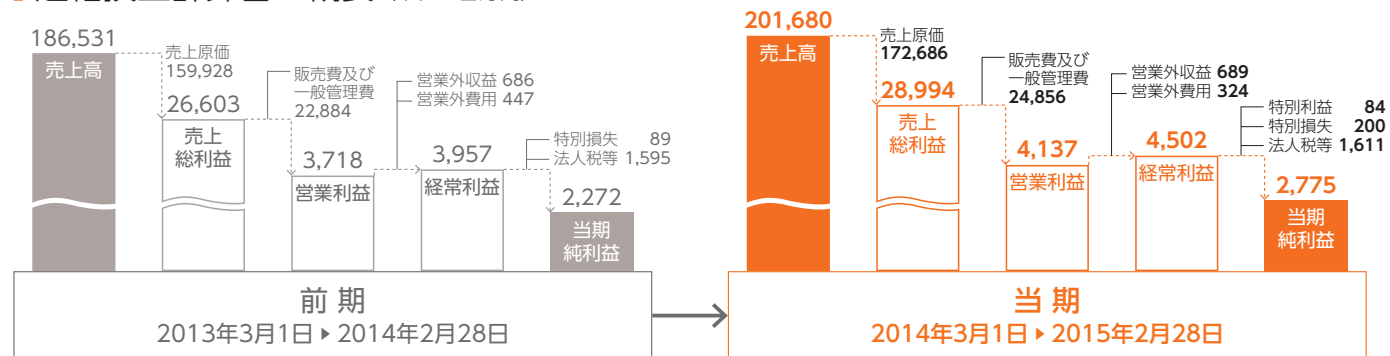
岩手工場

岩手工場 2015年5月稼働 東北エリアの拡大・強化

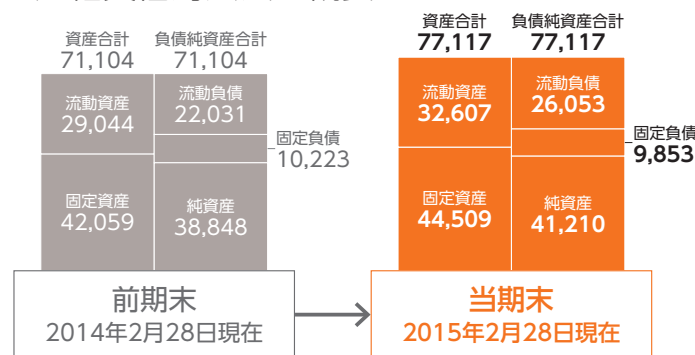
決算ハイライト



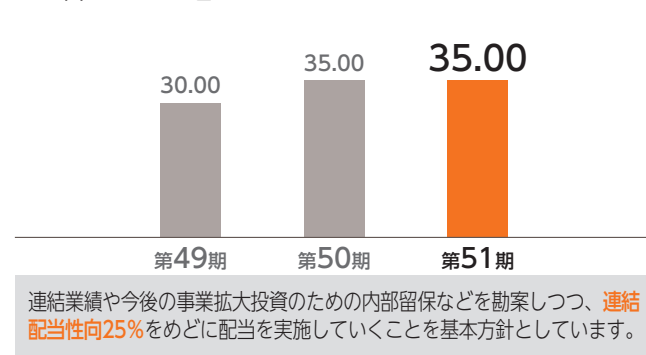
連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)

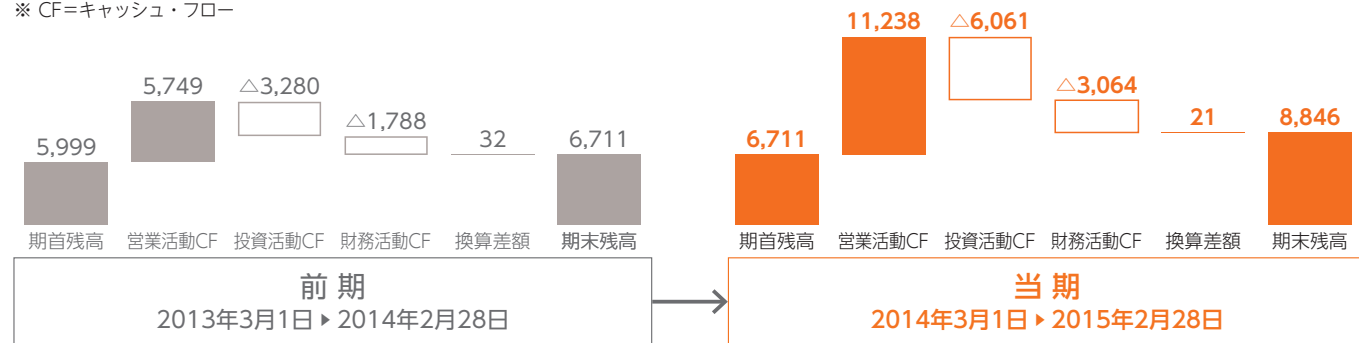


1株当たり配当金 (単位: 円)



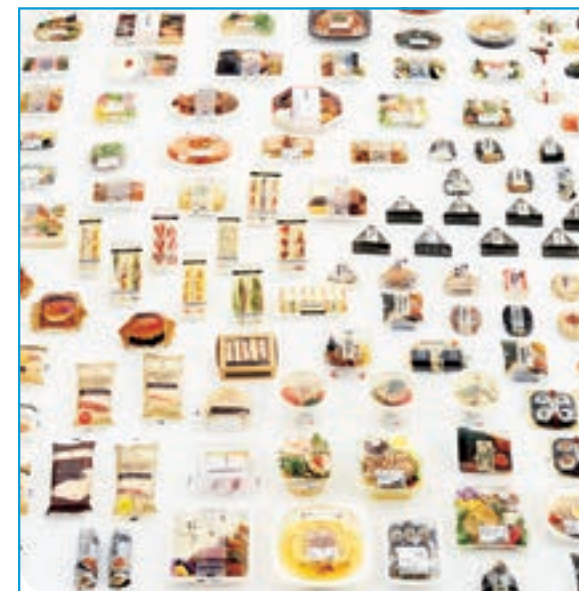
連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

※ CF=キャッシュ・フロー



POINT

売上高につきましては、主要顧客である(株)セブン-イレブン・ジャパンの積極的な出店や、チルド温度帯商品の販売伸長等により、前期比増収となり、利益につきましては、香川工場・浦和工場の初期赤字があったものの、増収効果等により前期比増益となりました。



食品関連事業

コンビニエンスストア、食品スーパー向けお弁当・おにぎり・惣菜等の製造販売。



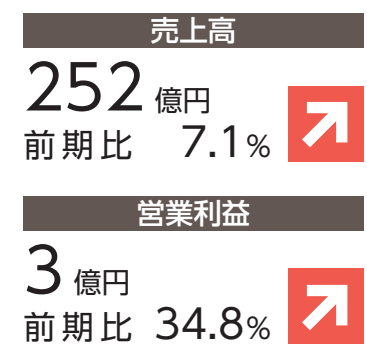
納品店舗の増加、「おにぎり」や「チルド弁当」などの売上が伸長し、前期比増収となりましたが、香川工場・浦和工場の初期赤字の影響等により、利益は前期並にとどまりました。

売上高構成比 (単位: %)



食材関連事業

国内外からの食品用材料の調達・加工・販売。

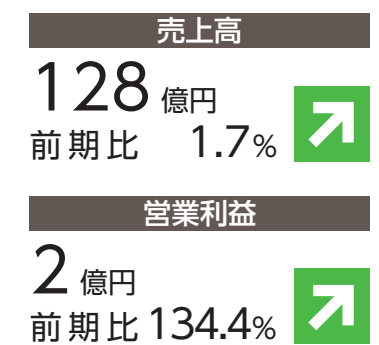


水産加工品の取扱高が増加したこと等により、前期比増収、増益となりました。



物流関連事業

食品・食材等の仕分・配送、物流システムの提案。

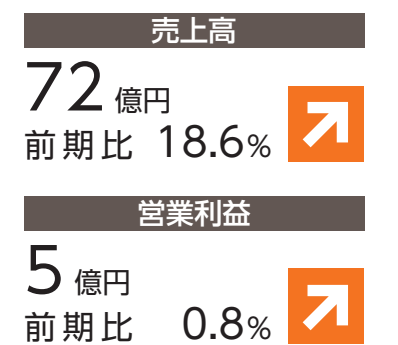


セブン-イレブンの店舗増加に伴い共同配送事業の取扱高が増加したこと等により、前期比増収、増益となりました。



その他

食品工場の建設から製造ライン・システムの企画・設計・施工、設備機器供給。人材派遣、業務請負。



食品製造設備事業が好調だったこと等により、前期比増収、増益となりました。

■ 会社概要 (2015年2月28日現在)

商号	わらべや日洋株式会社 (WARABEYA NICHIO CO., LTD.)
本社所在地	〒187-8503 東京都小平市小川東町五丁目7番10号 TEL: 042-345-3131 (代表)
設立	1964年3月18日
資本金	8,049百万円 東京証券取引所第一部上場 (証券コード: 2918)
従業員(連結)	社員1,935名 臨時従業員11,143名 (1日8時間労働換算)
主な事業内容	弁当、おにぎり、調理パン、惣菜等調理済食品 の製造および販売
役員	代表取締役会長 妹川 英俊 (2015年5月28日現在) 代表取締役社長 大友 啓行 取締役副社長 大木 久人 専務取締役 森浦 正名 常務取締役 藤沼 良友 常務取締役 白井 恒久 取締役 坪木 正雄 取締役 浅野 直 取締役 佐藤 吾一 取締役 坂田 洋一 取締役 棚本 実 取締役(社外) 古川 紘一 常勤監査役 旭 輝之 常勤監査役 井村 幹男 監査役(社外) 谷村 正人 監査役(社外) 神谷 和彦

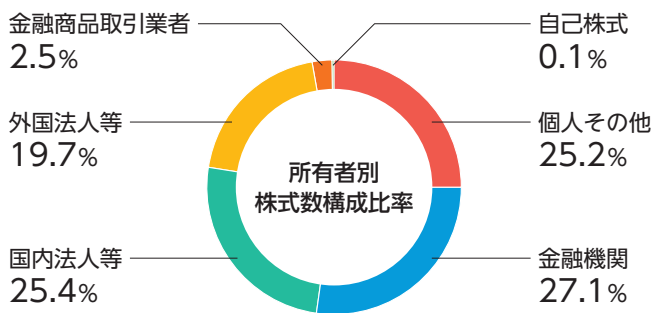
■ 株主メモ

事業年度	3月1日から2月末日まで
配当金受領株主確定日	期末配当金 2月末日
定時株主総会	5月
定時株主総会の基準日	2月末日(定時株主総会において議決権を行使すべき株主の確定日) なお、その他必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	http://www.warabeya.co.jp/ir/accounting/index.html
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081
郵便物送付先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

■ 株式の状況 (2015年2月28日現在)

発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式の総数	17,625,660株
株主数	8,709名
大株主	

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	2,195	12.46
株式会社大友アセットマネジメント	1,350	7.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,223	6.94
大友啓行	520	2.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	515	2.92
株式会社みずほ銀行	480	2.72
株式会社三菱東京UFJ銀行	480	2.72
わらべや日洋共栄会	444	2.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	443	2.52
BNPパリバ証券株式会社	304	1.73



株主優待のお知らせ

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された株主の皆様に対し、以下の基準により年1回5月下旬に「クオ・カード」を贈呈。



100株～999株

100株以上1,000株未満所有の株主様には、1,000円相当の「クオ・カード」を1枚贈呈



1,000株～

1,000株以上所有の株主様には、5,000円相当の「クオ・カード」を1枚贈呈

わらべや日洋株式会社

〒187-8503 東京都小平市小川東町五丁目7番10号
TEL: 042-345-3131 (代表)
<http://www.warabeya.co.jp/>



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。



この冊子は、FSC®認証紙を使用し、
印刷には環境に配慮した植物油インキ
を使用しています。